

放射線科コース

研修目標

画像診断、インターベンショナルラジオロジー(IVR)、放射線治療の研修を行う。

放射線科の概要

常勤医、放射線科診断専門医 3 名、放射線治療専門医 1 名、放射線科専門医 1 名、後期研修医 1 名
放射線診断機器；128 列マルチスライス CT 1 台、64 列マルチスライス CT 2 台、静磁場強度 3 テスラ MRI 1 台、1.5 テスラ MRI 1 台、PET-CT 1 台、SPECT 2 台 (SPECT-CT 1 台)、血管撮影装置 3 台など。

放射線治療機器；定位放射線照射装置 1 台、高性能リニアック 1 台、密封小線源体腔内治療装置 1 台。

モニタ画像診断環境。

研修施設基準

放射線科専門医総合修練機関（全部門）

IVR 専門医修練施設

日本核医学会専門医教育病院

年間診断件数

2014 年	CT ; 26,034	MRI ; 8,062	核医学 ; 1,621
2015 年	CT ; 26,515	MRI ; 8,570	核医学 ; 2,066
2016 年	CT ; 25,979	MRI ; 8,223	核医学 ; 2,215

年間 IVR 件数

2014 年	116	血管系 ; 66	非血管系 ; 50
2015 年	114	血管系 ; 48	非血管系 ; 66
2016 年	130	血管系 ; 59	非血管系 ; 71

年間放射線治療述べ人数

2014 年	リニアック ; 3347(6 月～)	ラルス ; 12(9 月～)
2015 年	リニアック ; 291	ラルス ; 17
2016 年	リニアック ; 336	ラルス ; 11

カンファレンス等

院内呼吸器カンファレンス	第3火曜日	17:30～
呼吸器センター勉強会	第3木曜日	18:00～
肝胆膵カンファレンス	第2木曜日	17:30～
婦人科カンファレンス	第2月曜日	17:15～
研修医向け講義	第1、第3木曜日	7:30～8:00
耳鼻咽喉科・頭頸部外科カンファレンス	毎週火曜日	17:00～

研修診療体勢

後期研修医には各個人専用のデスク、画像診断端末を整備している。

IVR、放射線治療に参加する。それ以外の時間は画像診断報告書作成を行う。

放射線治療は、放射線科専門医試験受験に必要な症例を経験し、それ以上は個人の希望を考慮する。

研究活動

日本医学放射線学会、日本 IVR 学会、日本放射線腫瘍学会、各種研究会などでの学術発表指導、論文作成指導など。

専門医取得

3年間の後期研修修了後、放射線科専門医試験を受験し、合格すれば放射線科専門医の資格を取得する。

その2年後に放射線診断専門医または放射線治療専門医の試験を受験し、合格すれば放射線診断専門医、または放射線治療専門医の資格を取得する。

日本 IVR 学会、日本核医学会の専門医受験資格に加味される研修実績も取得可能。

新しい専門医制度においては、岡山大学病院の連携施設となっている。

詳細は、<http://www.ok-radiology.jp/>を参照。